



青き楓

島高だより
平成22年12月号
(通巻第57号)
長崎県立島原高等学校
編集：情報図書部

校長室から

「『坂の上の雲』と進路選択」

校長 辰田幸敏



今年のNHKの大河ドラマは「龍馬伝」だった。毎週日曜日を待ち遠しく思っていた人も多かったと思う。原作は『街道をゆく』『功名が辻』『花神』などの著作がある司馬遼太郎さんである。「龍馬伝」が終わった今は、司馬さんの作品『坂の上の雲』がスペシャルドラマとして放映されている。

『坂の上の雲』は今から100年以上前の日露戦争時代を描いている。日本の歴史の一時代を知るだけでなく、当時の若者が時の流れの中で自分の生き方を模索し、苦悩しながら、どのように選択し、生きていったかを知る上で共感できる作品である。

当時の若者は「世のため、人のため自分はどうか生きればいいのか」という考え方で進路を選択していたようである。自分だけの人生を生きるのではなく、自分を取り巻く家族・親戚、友人・知人などとの関わりの中で、自分の果たせる役割を選択していったように思う。

現代の若者の悩みも「どう生きたらいいのか」「将来はどうなるのか」という進路選択の問題であろう。100年前の若者と変わらない悩みである。

ただ違うのは、当時の進路選択の幅は現在と比べて極めて狭かったということである。今は多種多様な職業があり、選択の機会も増えている。それだけに自分の才能や能力、生き方や生きがいなど十分な「自己理解」ができていなければ、多くの選択肢の中から選び取ることは難しいと言える。

冬休み中にもう一度、親子で「夢」や「生き方」について話し合っしてほしいと思っている。



1月の主な行事予定



- 2日(日) 3年生センター試験プレテスト(～3日)
- 4日(火) 3年生冬季補習(～8日)
- 7日(金) 1・2年生冬季補習(～8日)
- 8日(土) 2年生中地区学習交流会(～9日)
- 11日(火) 3学期始業式
1・2年生校内実力テスト(～12日)
- 14日(金) 東大金曜講座
- 15日(土) 大学入試センター試験(～16日)
1・2年生土曜講座

- 18日(火) 3年生特別編成授業開始
- 21日(金) 1年生理数科地学セミナー
東大金曜講座
- 22日(土) 1・2年生対外実力テスト
- 23日(日) 2年生対外実力テスト
- 25日(火) まゆやまロード健脚大会
PTA炊き出し
- ※年間予定から1日繰り上げて実施
- 28日(金) 東大金曜講座
- 29日(土) 3年生土曜講座



思い出 修学旅行

2学年主任 酒井 俊治



東大寺



ライトアップされた清水寺



奈良公園で鹿と戯れる

64回生は12月6日から10日まで、4泊5日の修学旅行に行ってきました。

初日、新門司港へ向かう途中、クラス毎の研修先に立ち寄りしました。

2日目、奈良公園でクラス集合写真を撮った後、南大門や大仏の巨大さに圧倒されながら、専門ガイドさんの話にも聞き入っていました。午後はタクシーに分乗して、京都班別研修を行いました。見学コースは班員の希望で決めましたが、タクシー運転手のガイドも付き、充実した京都観光を楽しめたようです。

3日目、新幹線で東京へ移動中、車窓から見た富士山はさすがに雄大でした。東京タワーではほぼ全員が外階段を踏破しました。そして、ディズニーランドは思いおもいの楽しみ方で十分に満喫したようです。ホテルへの移動中、「東京の夜景」も満喫しました。

4日目、メインイベントの企業訪問です。普通科は企業訪問と自由散策、理数科は筑波の研究所を2カ所訪問しました。今回の訪問のために特別に資料を作っていただいた訪問先も多く、社会人として対応していただいたことに感動したり、普段目にする事のない仕事の「現場」を垣間見て、驚きと共に働く厳しさも感じてきたようです。



最終日、浅草寺でもクラス集合写真を撮りました。

期間中、その日の研修内容をまとめるレポートを毎日課しましたが、宿舎ではレポート作成に励んでいたようです。年明け早々には記念文集を作成し配布する予定です。

事故も病人もなく無事に研修を行えたことが何よりです。この修学旅行で体験したことを、今後の学校生活や進路選択に役立てて欲しいものです。



高かった東京タワー



夢の世界(ディズニーランド)



筑波研修

修学旅行時の善行

東京での班別研修のときに、地下鉄の車内で本校生徒が席を譲った方から、「とても嬉しかった」とお礼のお便りが送付されてきました。



お礼の手紙



歳末 助 け 合 い 街頭募金運動 ご協力ありがとうございました

生徒会指導部主任 谷口英次

12月13日から17日まで、歳末たすけあい募金活動を行いました。例年同様、校内での募金に加え、12月14日、15日の両日、街頭での募金活動を実施しました。エレナ島原店、ダイエー島原店、ウィルビーの3カ所にて、参加した生徒たちがそれぞれ声を張り上げて募金をお願いしていました。今年も厳しい経済状況の中、たくさんの募金をいただきました。募金は長崎新聞社を通じて共同募金会に届けます。みなさんのご協力ありがとうございました。



街頭募金

校内募金 45,060円 + 街頭募金 95,616円 = 計 140,676円

理 数 科

理数科主任 吉永 真二

1年 地学セミナー 島原半島南部の特徴的な地質学的遺産の見学



12月10日(金)に理数科1年生は講師の寺井邦久先生(普賢岳災害記念館・島原半島ジオパーク推進委員)のご指導のもと、島原半島巡検を行いました。この研修はSPP(サイエンスパートナーシッププロジェクト)の一環として実施したもので、島原半島の地質学的成り立ちを実際のジオサイトを見学することによって学ぶことができます。それ以外にも、ジオサイトに関連した植物・産業・歴史なども解説していただき多面的にジオパークをとらえることができました。生徒は熱心にメモをとったり、説明に驚いたり、納得したりして楽しく研修を受けていました。今後、生徒はこの巡検で得たことを参考に、各自が自分の町にあるジオサイトの紹介を行う研修をしていきます。

《生徒感想》

- ◆自分たちが住んでいる所の地質や火山について実際に観察して色々なことがわかった。寺井先生の話もとても面白く地学に興味がわいてきました。
- ◆島原半島にこんなに多くのジオサイトがあるとは知りませんでした。特に龍石海岸の地層は年代等がはっきりしていて興味深く、楽しく巡検ができました。

2年 数学セミナー 数学の魅力に触れる ～数学的活動を通して～

12月17日(金)長崎大学教育学部の平岡先生を講師に招き「数学セミナー」を開催しました。平岡先生は「考えることを大切にする」という趣旨で、いろいろな問題を生徒に発問し、解説してくださいました。A4用紙の辺の比や、A4用紙とA5用紙が相似であるということの証明、指をつかした計算などなど、身近な素材を用いた質問に生徒も楽しみながら数学の魅力を感じたようです。



《生徒感想》

- ◆今まで自分が見ていたところからまた違った見方をするのでとても面白い授業でした。
- ◆いままで普通に使っていた公式などに対して「Why?」と聞かれ、理由を説明できなかったり「はっ」と気づくことがあって面白い授業でした。
- ◆身近なものの数学や近似の話などとても興味深い授業でした。



1学年～ボランティア活動～

1学年主任 吉田 英雄

今年で3回目となる島原市立第一小学校との清掃活動が12月8日(水)に実施されました。30の小グループに分かれ、小学生とふれあいながら島原城の清掃活動に取り組みました。普段接することのない小学生との交流を十分楽しんで生徒も多かったようです。

また、今回は、保育園での実習(20名参加)、施設訪問(40名参加)も同時に実施しました。

《生徒感想》

清掃ボランティア活動



落ち葉 たくさんの

小学生と一緒に島原城の清掃活動に取り組みました。きちんと話せるか、また仲良くできるかと不安でしたが、とても楽しく有意義に過ごすことができました。元気いっぱい小学生に元気を分けてもらったような気がします。最近何となく過ごしている学校生活でしたが、私もあの小学生に負けていけないと思いました。これからの学校生活をより充実したものにできるよう努力していきます。(女子)

乳幼児ふれあい体験

とにかく疲れた。保育士のみなさんはこんなに大変な仕事を毎日やっているのかと驚いた。でも活発な幼児たちから沢山の元気を分けてもらいました。子育て支援センターでは乳児たちの名前の由来や感情表現の仕方、子育ての大変さなど、色々ためになることを教えて頂きました。とても貴重な経験でした。(男子)



異世代ふれあい体験

私たちは、異世代ふれあい体験として、福祉施設の「ありあけ荘」に行きました。最初はどんなことをするのかわからないままだったけど、家庭科の授業でプレゼントをするツリーを作ったり、うさぎや鶴の折り紙を作ったりと準備をすすめていきました。また、体育祭で演技した組体操やがんばらんば体操、校歌や唱歌「ふるさと」なども、おじいちゃん、おばあちゃんを楽しませるために頑張って練習しました。当日、私たちの歌や体操をおじいちゃん、おばあちゃん達が笑って見てくれていて、とても楽しかったです。(女子)



男子ソフトテニス部

第40回九州高校新人ソフトテニス競技大会

男子個人の部

主な部活動成績

優勝 長嶋広晃・幸田真吾 組



島原地区高等学校
・特別支援学校

PTA 連 合 会 秋 季 研 修 会

PTA担当 荒木良太

去る11月27日、「親として、大人として、子どもとどう向き合えばいいか」を大会テーマとして、平成22年度島原地区高等学校・特別支援学校 PTA 連合会秋季研修会が島原市のホテル南風楼で開催されました。

各種委員会報告の後、「21世紀は世界的交流の時代～生徒一人ひとりの視野拡大と高い目標での進路実現に向け島原地区PTAに期待すること～」と題して、ベネッセコーポレーション教育開発センター顧問で元宮崎西高等学校長の宇田津一郎先生による講演が行われました。先生のエネルギーなお話を聞いて、小さな卒にとらわれず幅広い視野で子どもの可能性を伸ばすことの大切さを感じました。また、今年度からの新しい取り組みとして、パネルディスカッションが行われ、それぞれの立場から子育てについて活発な意見交換が行われました。

来年度も、ぜひ多くの保護者のみなさんの御参加をお待ちしています。

